

令和5年度 第13回 沼津市中心市街地まちづくり戦略会議  
《議事概要》

開催日 : 令和6年3月28日(木)

開催時間 : 開会 午前9時30分

閉会 午前11時30分

開催場所 : 水道部庁舎3階会議室 + Web

出席者

	氏名	現職等	備考
有識者	岸井 隆幸	一般財団法人 計量計画研究所 代理理事	座長
	森本 章倫	早稲田大学 教授	
	小泉 秀樹	東京大学 教授	WEB 参加
	福井 恒明	法政大学 教授	
市民	佐藤 清治	沼津市自治会連合会 (第一) 会長	
	高田 利昭	沼津市自治会連合会 (第五東) 相談役	
	土屋 豊	沼津市自治会連合会 (第五開北) 会長	
	岸本 まき	沼津市地域公共交通協議会 委員	
	石黒 和子	沼津市社会福祉協議会 福祉企画課長	
	栗田 奈穂子	沼津市都市計画審議会 委員	欠席
商工事業者	芦川 勝年	沼津市商店街連盟 会長	
	根上 博	沼津商工会議所 産業振興部長	代理出席
	曾根原 容子	沼津商工会議所 女性会 直前会長	
交通事業者	平井 崇士	東海旅客鉄道株式会社 総合企画本部 企画開発部担当課長	代理出席
	井原 一泰	富士急シティバス株式会社 取締役社長	
	鈴木 智善	平和タクシー株式会社 代表取締役	
行政機関等	築野 典之	静岡県 沼津警察署 規制係長	代理出席
	望月 康史	静岡県 交通基盤部 都市局 局長	
	長谷川 孝幸	静岡県 沼津土木事務所 都市計画課長	代理出席
	南木 宏和	独立行政法人 都市再生機構 中部支社 都市再生業務部 まちづくり支援室 担当部長兼室長	
	吉澤 勇一郎	沼津市 副市長	欠席
	関野 勇治	沼津市 まちづくり統括監	
オブザーバー	田中 成興	国土交通省 都市局 街路交通施設課 街路事業調整官	WEB 参加
	後藤 直紀	国土交通省 中部地方整備局 建政部 都市整備課 課長	WEB 参加

<次 第>

1 開会

2 委員紹介

3 事務局からの説明

- (1) (都) 三枚橋錦町線道路空間（パークレット・ゼブラ帯）の利活用について
- (2) 駅前交差点南北地上横断化及び実践広場について
- (3) 新たな情報発信について
- (4) 長期的な整備に向けた検討について

4 意見交換

5 閉会

<議事概要>

岸井氏	情報発信のデジタルプラットフォームは独自アプリを開発するのか、それとも既存のシステムを利用するのか。
事務局	既存システムを活用するが、専門の事業者に委託し、沼津市に合ったプラットフォームとして作成する。先進的な自治体での導入事例を参考に、沼津市用に直して利用する。
小泉氏	デジタルプラットフォームの取組を進めるうえで、2 つ大事なポイントがある。まず、庁内の横の連携が重要である。沼津市は MINTO 機構からのファンドでまちづくり助成を長らく実施しており、まちづくりに関心のある団体等がアクティブに活用しているため、継続してほしい。次に、情報の交流の視点が重要である。市が提示する情報について市民がレスポンスしたり、活動への参加やなど市民側からの動きもあると思うので、受けとめるような行政内部の体制を構築することが必要だと思う。デジタルプラットフォームの運営については事業者に丸投げにならないようにすること。駅前中心市街地の再生の取組の意義を幅広い市民に理解してもらい、協力してもらえよう願いたい。
岸井氏	デジタルプラットフォームの市の中での運営主体はどこか。
事務局	まちづくり政策課が担当することを想定しているが、他部署で類似の取組をしている。情報連携については来年度早々に取り組んでいきたい。また、事業者の選定を速やかに行い、早期に取り組めるようにする。デジタルプラットフォームについては来年度以降も継続し、長期的な視野をもって構築していきたい。
岸井氏	各地のイベント等の情報を集約化できれば良いと思う。
福井氏	市民からすると駅前の取組も中央公園の取組も同じように映る。中心市街地全体の取組がわかるようにするのが必要。直接デジタルプラットフォームにアクセスすることは現実的ではない。X やインスタ等の SNS だと反応が分かる。情報が入ってくるよう、相互参加的な運用を願いたい。 パークレットのゼブラ帯の活用について、駐輪場の設置には疑問がある。一度駐輪場を置いてしまうとその先の取組に展開していかないように思う。資料下部に記載のあるようなキッチンカー等のポジティブな活用を期待する。一度設置した駐輪場は、撤去するときには反対意見が出る可能性がある。 パークレットの植栽の維持管理については、高校生を安価な労働力として利用するのではなく、適宜フィードバックをもらい、まちづくりに携わっているというやりがいを感じられるような工夫をしてほしい。

岸井氏	<p>デジタルプラットフォームについて、多くの方に発信することが大事だが、どのエリアまで発信するかについてはよく考えるべき。</p> <p>ゼブラ帯の駐輪場利用の話があったが、高架下の土地利用についてはまだ先のことになるのか。</p>
事務局	<p>高架下の活用については長期的な視点で検討する必要がある。ゼブラ帯の駐輪場利用については、永続的に設置するのではなく、まずは置いてみて利用状況の確認をしたいと考えている。飲食やイベント等の利用についても積極的に実施したいと考え関係機関協議を行っているが、まだ実現できていないので、まずは駐輪場を設置したいと考えている。</p>
森本氏	<p>デジタルプラットフォームについて、市は沼津版スマートシティ「X-Tech NUMAZU」を立ち上げているが、今回立ち上げを検討しているデジタルプラットフォームは、X-Tech NUMAZU 情報発信サイト「XN-LOUNGE」とどのような関係になっているのか。大きなスマートシティのプロジェクト中に今回のプラットフォームを位置付けるのが良いと思う。X-Tech NUMAZU は、鉄道高架事業をはじめとする都市基盤整備という文言からはじまり、まちづくり戦略会議で行っている議論を想定した組織なので、情報関係は全体の中で整理してほしい。</p> <p>また、UR 都市機構の敷地活用については、将来的にリビングラボのようなものが整備されればよいと思う。リビングラボとは、地域の中で市民や企業が情報交流する場だが、交流するだけでなく、そこから新しいプロジェクトが生まれるものにしていく必要がある。デジタルプラットフォームと将来的につながることを考えたい。</p>
事務局	<p>「X-Tech NUMAZU」との連携の可能性については、今後所管部署と確認をしながら検討していきたい。</p>
岸井氏	<p>UR 都市機構が公募する民間の事業パートナーの条件はどのようなものか。</p>
事務局 (UR)	<p>事業パートナーの公募条件については、民間の自由な発想のもと協力いただくことになっており、拠点施設内の地域貢献部の中でまちづくりに寄与するような、まちのコンシェルジュ的な役割を担うよう条件を付けている。具体的には、まちづくりイベントの実施や周辺施設案内等、訪れる人々の交流を促進するような役割を担ってもらえるように、事業パートナーの提案を受けてから、市・UR 都市機構・事業者の三者で協働していきたい。</p>
森本氏	<p>民間事業者に求めるのはハードの提案なのか、ソフトの提案なのか。</p>
事務局 (UR)	<p>ハード面の提案だけでなく、ソフト面の取組の提案も内容としている。</p>
高田氏	<p>ゼブラ帯の活用について、イメージ的に、人が入れる場所にするのか、キッチンカーが入れる場所にするのかによって、活用の仕方が大きく変わる。</p> <p>(都) 三枚橋錦町線の整備に向けた試験的なパークレットとのことだが、パークレット撤去後に、それまでの集客を駅前広場につなげることが目標であると思う。</p> <p>また、誰もが出店・参加できるという形をとっていても、具体的な方法が分からなければ、一年経っても同じ状況となってしまうので、ルール作りと情報発信に時間を要するなら、早い段階で出店・参加についての環境整備が必要である。</p>
岸井氏	<p>パークレットに出店したい人はどのように申し込むのか。</p>
事務局	<p>パークレットについては広報誌や HP で周知しているが、具体的に使える時期や貸出物品の整理が十分にできていない。令和 4 年度・5 年度の OPEN NUMAZU の取組の中で出店者の動向は把握しているが、周辺の方々による利用のルール作りについては今後検討を行う。</p>

佐藤氏	<p>ゼブラ帯の利用として、例えば、地域からアート関係の展示を募って置くのもよいと思う。沼津での取組を知ってもらい良い機会になると思う。通行者に見てもらって、沼津ではこんなことをやっているんだ、と認識してもらい良い機会になると思う。</p>
芦川氏	<p>社会実験とはいえ、イーラ de 南側に駐輪場を設けることの前提が良く分からない。自転車のスピードが出過ぎたり、放置されるなどの問題がある。また、風の問題も心配している。当然地元にも説明していると思うが、もっと分かりやすい説明をお願いしたい。</p>
事務局	<p>地元商店街の方に、個別にも全体にもまだまだ説明していかなければならない。現状、鉄道高架事業をふまえて沼津駅周辺の駐輪場は鉄道近辺に集約して配置されているが、場所が分かりづらいという意見を多数受けている。市としては、鉄道高架事業、まちづくり戦略の進展と合わせて、より分かりやすく使いやすい駐輪場配置を考えていかなければならない。その第一歩として、駐輪場の利用状況の把握を目的として（都）三枚橋錦町線のゼブラ帯への設置を検討している。また、受益者負担として有料化も考えている。</p>
森本氏	<p>まちの顔にふさわしい一等地に駐輪場を置くことは望ましくないと考えている。駐輪場の計画としては、本来は民地側に駐輪施設を作るのが大前提である。一時的な電動キックボードやシェアサイクルポートの試験的な設置は良いと思うが、常設的な駐輪施設の整備には疑問を感じている。市全体の駐輪場計画についても併せて検討をお願いしたい。</p> <p>また、カーブサイドマネジメントとして、路肩の活用の種地として重要な場所である。例えば、時間単位で使い方を変えたり、若手のチャレンジオープンキッチン等で活用し、軌道に乗れば歩道の中に出店する等、さらなる使い方の議論が必要である。加えて、デジタルプラットフォームの中でも常時情報発信していくなど、賢いマネジメントを考える必要がある。</p>
事務局	<p>駐輪場暫定整備については、シェアサイクルも同時に設置したり、買い物利用を前提にした運用を考えている。維持管理についても、通常管理をしている係がいて放置禁止区域を巡回しているので、乱雑な設置や長期間置くことがないような管理を考えている。また、あくまで暫定設置であることを利用者に伝えられる工夫をしていく。</p>
小泉氏	<p>ゼブラ帯の活用について、森本氏と同意見である。せっかくであれば、テーブルの設置や、常設でなくてもキッチンカーの運用についてマネジメント含めて検討してほしい。パークレットの利用を進める意味でも、パークレットの価値を考える上でも、キッチンカーの配置などのイベント時に人が集えるような空間にすることを、安全に配慮しながら前向きに検討していただきたい。</p>
曽根原氏	<p>ゼブラ帯の活用について、駐輪場の話が先ほどから出ており、たしかに駅前に短時間駐輪する場所が少ないのは分かるが、非常に風が強いので、自転車がすぐ倒れてしまうことが想定される。倒れた時に誰が起こすのか、管理をしていくなら管理者を置かなければならない状況になると思う。また、短時間でも違反した者に対して罰金を科すのか。管理が行き届かないで乱雑になることが十分懸念される。</p> <p>出店利用については、風が強いことや、簡単には店を構えることはできないことを考えると、キッチンカーが適していると思う。キッチンカーを始めた方が出店のチャレンジをする場所にしても良いと思う。出してもらう際には、継続的に出してもらい等の認知される工夫も必要だと思う。</p>
事務局	<p>風対策としては、路面上にラックを付ける形で設置するため、自転車が倒れたり、路上に出ることはないと考えている。維持管理の対応としては、午</p>

	前午後の一日2回の管理者による巡回を考えている。
岸井氏	皆さん駐輪場の設置には疑問を呈されている。実験的に駐輪場を置く明確な目的を分かりやすく説明してもらう必要がある。
曾根原氏	風が吹いても大丈夫なようにするとのことだが、現状かなり強い。最悪の状況を想定して運用すること。また、様々な自転車が駐輪されることから、見た目が美しくないように思う。せつかくのパークレットの綺麗なイメージが崩れてしまわないよう留意願いたい。本当にこの場所に駐輪場を設置することが良いのかどうかについて再検討してほしい。
事務局	駐輪場設置の目的については、まずは駐輪場を置くことによるパークレット利用にどんな効果が出るのかが一つ。また、駅周辺の駐輪場は駅利用者の利用が想定されているため、中心市街地や商店街に近い場所に設置し、どれだけ商店街の活用が図られるかを検証するために駐輪場を設置したい思いもある。
森本氏	皆さんの意見は否定的なものが多いので、今回の議論を受けてゼロベースで再検討してほしい。
高田氏	パークレットと併せてゼブラ帯を活用することにより集客が生まれる。集客があった際に駐輪場があれば便利である。視点を変えると、駐輪場は利用施設の近くにあれば便利だが、イーラ de 北側の駐輪場は、監視はしているものの十分に管理できておらず、駐輪時間が長いという現状があっても、他の場所は遠いのでそこに駐輪してしまう。駐輪場を整備することで人が来るという考え方は賛同できない。いかにしてパークレットを活用するかアイデアを出さなければならない。キッチンカーも一つだが、キッチンカーが来ても集客がなければ商売は成立しない。
岸井氏	もし駐輪場として運用するのであれば、検証・把握する項目を整理する必要がある。風対策、利用方法等を検討しなければ厳しい。
事務局	OPEN NUMAZU では屋台が風の影響を大きく受けたこともあり、風の影響を受けにくいキッチンカーの取組は有用であると考えている。また、地元からは昼食をとる場所が少ないとの声もあることから、イーラ de 店舗以外からの出店などにより、パークレット利活用に広げていきたい。市としても、キッチンカーが設置できる方策を関係者と協議していきたいので、是非バックアップしていただきたい。
福井氏	駐輪場については多少条件が悪い場所に置いてもよいと思う。 沼津駅南口交差点の地上横断化について、今回一番ニーズが高い箇所を、広場整備との関係で地上横断化すると思うが、現状の四方向の地下道を将来的にどうするのか考えを伺いたい。
事務局	公共空間再編整備計画の中で、将来的には四方向の横断歩道の設置を考えている。今回設置する場所は東側の南北方向の地上横断化であるが、東西方向の地上横断については、道路幅員が広く、一般車乗降場の整備等もしなければ地上横断化ができない。長期の駅前広場の整備も踏まえて、交通管理者や道路管理者と協議を進めていく。
福井氏	条件の良い所、悪い所を整理して考え、戦略的に進められたい。
井原氏	地上横断化の資料で、(都)三枚橋錦町線について「東向き車線の片側一車線化」とあるが、現状からどのように変化するのか。改めて説明願いたい。
事務局	現状東進二車線、西進二車線となっているところを、東進一車線、西進は現状のまま(二車線)と考えている。西進の車線に関しては、自転車通行空間として矢羽根を設置している分、車線を北側に寄せている。

望月氏	<p>地上横断化のスケジュールを再度確認したい。UR 都市機構敷地の広場のオープンに合わせて R6 年度には工事をするという事でよろしいか。</p> <p>また、地上横断化によって従来の交通状況から大きく変わるため、事前に渋滞等のシミュレーションを行う必要がある。交通管理者や道路管理者との協議に時間を要すると思うが、実証実験ではなく本整備を行うのか。</p>
事務局	<p>地上横断化については、令和 4 年度から 2 か年にわたり交通管理者や道路管理者と協議をしてきた。横断歩道の設置については交通管理者から本整備で実施するよう指導されているため、本整備で実施する。</p> <p>今後のスケジュールについては、まずは関係者の合意が取れ次第、地下道の上屋撤去と階段部分の埋め戻しの詳細設計を 3、4 か月程度で実施する。9、10 月ごろには詳細設計を終え、工事着手し、来年 2、3 月ごろに地上横断化が実現できるよう見込んでいる。</p>
望月氏	<p>令和 4、5 年度で関係者協議を行ってきたとのことだが、協議は整っているということよろしいか。</p>
事務局	<p>協議は最終段階に入っていると考えているが、交通管理者から最終的な了解は得ていない。今までの協議経緯から、概ね実施可能と判断し、今回提案している。</p>
岸井氏	<p>来年の春の UR 都市機構敷地のオープンに合わせて、地上横断化も実施できればよい。地上横断化工事中の、地下道横断から地上横断への切り替え移行の際の対応については、工夫が必要かもしれない。</p>
長谷川氏	<p>地上横断化に係る道路は、都市計画上は交通量が多いと整理がなされている。鉄道高架後の長期の交通シミュレーションを確認しているとのことだが、都市計画マスタープラン、交通関係の上位計画等も整理し、本整備で都市計画上、交通計画上問題ないか確認すること。</p>
南木氏	<p>来年には UR 都市機構保有地の供用開始となる。地域との関係を広げ、中心市街地の繁栄につなげられればよいと思う。本日いただいた意見を踏まえて民間の事業パートナーの選定をしていきたい。</p> <p>高校生によるパークレット植栽管理について、沼津市でも若者の流出が問題となっていると思うが、高校生が沼津に戻りたいと感じられるような思い出作りとなる活動になれば良い。パークレットがいつまで設置されるか不明だが、高校生達に関わってもらったものが何らかの形で残ると良いと思う。</p>
岸井氏	<p>資料 P23 のイメージパース通りに広場ができるイメージでよろしいか。また、UR 都市機構敷地の土地の活用について、市・UR 都市機構の協議の中で、利用者からの料金等のルールは決めているか。</p>
事務局 (UR)	<p>資料 p23 のイメージパースはあくまで公共空間再編整備計画で示されているイメージである。</p> <p>広場利用の料金等ルールはまだ決まっていない。事業パートナー選定後、地域貢献部にも地域のプレーヤーが使えるスペースを用意したいと思っているので、建物含めた広場運営について協議していきたい。</p>
岸井氏	<p>具体的な運用方法について、関係者と十分に議論した上で選定条件を決めておき、事業者に示しておく必要がある。</p>
望月氏	<p>駅舎等のデザイン検討について、デザイン検討会の構成メンバーや、検討結果を JR 東海の駅舎設計に反映できる範囲など役割について教えてほしい。</p>
事務局	<p>デザイン監修としては、デザイン基本計画で示すのはあくまでも市の考えなので、JR 東海の駅舎設計にどこまで反映できるのか調整を図る予定である。</p>
岸井氏	<p>デザイン検討会とまちづくり戦略会議はどのような関係か。両組織間で何</p>

	度かやり取りを行うということか。
事務局	駅舎は駅前広場や高架下と合わせて、沼津市全体のまちづくりの中で議論する必要があるので、まちづくり戦略会議の場でご意見をいただきながら進めていきたいと考えている。
平井氏	<p>鉄道の全線の高架化は 15 年程度先と予定されており、その間にデザインの考え方やまちの状況も変化していくものと考えているため、デザイン検討会の検討内容については駅舎の設計に柔軟に反映していきたい。見た目だけでなく、使い方を含めて検討会議の中で議論するのが大切だと思う。</p> <p>また、最初に決めたい高架橋に設置する防風スクリーンの設えについて、まちのコンセプトに合ったデザインで地元の人に愛されるようなものがよいと思うが、予算等も考慮しながらデザイン検討会の場で議論できればよいと思う。高架橋自体のデザインについても、丸みを帯びたものがよいのか、直線的なデザインとするのか等について議論していただければと思う。</p> <p>デザイン検討会では、基本計画に含むべき範囲やデザインの基本的なコンセプトを共有することが重要と考えている。</p>
岸井氏	高架下をどう活用して駅とどういう関係を持たせていくかを、この段階で整理して、共有しておきたい。
福井氏	最初にあるのが高架橋の決定だが、柱の位置やどこに空間をとるかは、駅周辺の空間が最終的にどうなるかに大きく関わる事項である。どのような空間配置にするのか、駅の出口を駅広場のどこに接続するのかによってほぼ決まる。そういうことがデザイン検討会での議論の中心となるのではないかと思う。
田中氏	ヒト中心の空間を整備する中で、歩行者の動線だけでなく、ヒト中心で考えた時の公共交通のあり方も同時に考える必要がある。連続立体交差事業で南北の分断が解消されるということだが、南北動線についての今後の検討予定を知りたい。
事務局	コンコース含む高架橋の横断箇所は、現段階で概略設計がなされているが、デザイン検討会の場で JR 東海とともに具体的な配置の調整について議論していきたい。
岸井氏	沼津駅の南北では、北から下がっていく地形になっているなど高低差の問題もある。具体的な設計を検討する段階になった際には、イメージを共有する必要がある。皆様のご指導・ご支援をいただきたい。

以上